

2021年3月11日「3.11希望の灯り・点灯式2021」
希望の灯り管理団体「箱根振興会」(岩手県陸前高田市)
藤原 直美 会長様からのメッセージ

~~~~~

ご来場の皆さま、福井県の皆さま、本日はご苦労様です。  
箱根振興会(気仙大工左官伝承館)の藤原です。

この度は、この様な機会をいただき、誠にありがとうございます。  
福井県社協の皆様とは震災直後に出会い、避難所や高齢者の一人暮らしの家庭を中心とした見回りなど、長期間に渡る多くのご支援をいただきました。

顔も解らず、場所も不明の中、大変な作業の毎日でした。  
広田で私が管轄していた地区のばあちゃん、じいちゃん達に非常にありがたいと喜ばれ、お茶も出していただいたところもありました。  
悲しみと苦しみの中であったにも関わらず、明るく和やかな一面もあったなあと思ひ浮かべ、懐かしくもあり、悲しくもあります。

10年という節目を境に振り返ってみますと、一面瓦礫と化した荒野を前に先が見えない暗闇の中でもがき苦しんでいた時に、いただいた沢山の方々からの温かいご支援や励ましの言葉で生きる力が生まれました。

10年経ってさあこれからという時に、今度は世界を揺るがす事件が起きてしまいました。新型コロナウイルスです。  
丸1年以上が経つのにまだ猛威を奮っています。

私共も昨年は、「伝承館」と「杉の家はこね」も長期の休業を余儀なくされました。

そんな中でも食堂は展示室に変え、杉の家は一部を多目的スペースへと模様替えし、コロナ収束後を見据えて少しずつ新たな試みに取り組んでいます。

ここで改めまして、東日本大震災で犠牲となりました皆様へと心からの慰霊と共に多くの皆様よりいただいた温かいご支援に対し、希望の灯りに託して心より深謝の気持ちを表したいと思えます。

これからも東日本大震災を通じて実感させられた最も大切な「命の尊さ」、「人が人を支える、共に生きる」をしっかりと胸に刻み、今後も自然豊かな気仙地域の暮らしを体験し、自然災害の教訓を後世へと繋いでいく拠点としての活動を続けてまいります。

最後になりましたが、3.11でお亡くなりになりました全ての御霊対し合掌して終わります。

令和3年3月11日

陸前高田市「箱根振興会」会長 藤原 直美